



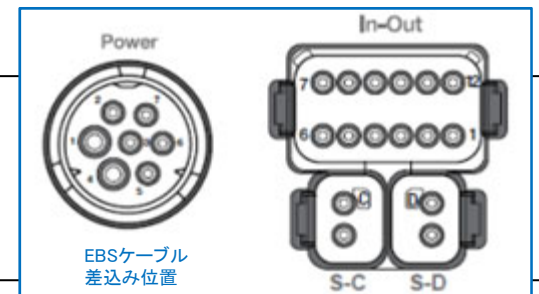
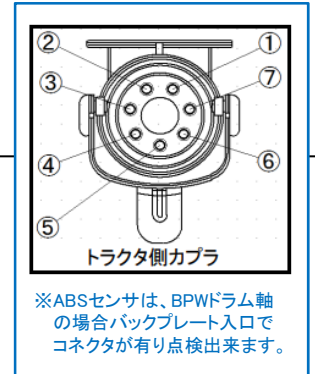
クノールEBS G2.2 エラーコード表

クノールG2.2資料へトレクストレアラ用に追記してます。
2024年8月 日本トレクス(株)サービス課作成

エラーコード表

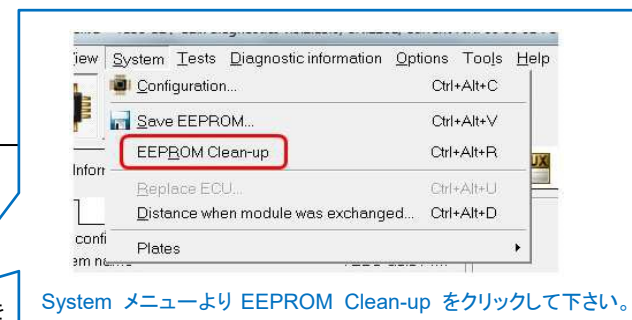
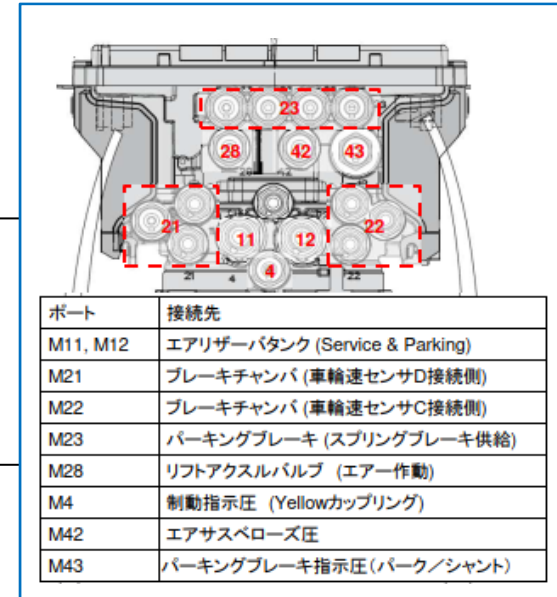
エラーコード表

エラーコード	内容	処置
000200	モジュールエラー(チェックサム異常)	イグニッションスイッチ OFF/ON にてエラーが解消されない場合、TEBSモジュールの不良が考えられます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">※TEBS・・・トレーラEBS</div>
000300	モジュールエラー (EEPROMエラー)	
000400	モジュールエラー (EEPROMチェックサム異常)	
000500	モジュールエラー (EEPROMデータ異常)	
000600	モジュールエラー (EEPROM書き込みエラー)	
000700	モジュールエラー (ECUハードウェアとソフトウェアバージョンとの不整合)	
000800	モジュールエラー (2マイコン間のソフトウェアバージョン不整合)	
000900	供給電源エラー	制動中、頻繁に供給電圧が低下 以下の確認を行って下さい。 ・ 全てのケーブルが正しく接続されている事 ・ ISO7638コネクタピンに汚れ、ゴミの混入が無い事 ・ ISO7638 1, 4ピン間 及び 2, 3ピン間電圧が8~32Vの範囲にある事 ・ ISO7638コネクタピンを再度押し込む
000C00	車輪速センサD 異常	断線 又は 天絡 他の車輪速センサ信号との短絡:ケーブル被覆の磨耗による他センサとの絶縁不良等 車輪速センサ信号異常:他の車輪速センサ信号の誘導等 以下の確認を行って下さい。 ・ センサ抵抗値: 1kΩ ~ 2kΩ の事 ・ センサ 及び 延長ケーブルコネクタ内への水侵入や汚れ、ゴミの混入が無い事 ・ センサケーブル 及び 延長ケーブルの破損、亀裂が無い事 ・ 2本の車輪速センサケーブルがツイストペアで配線されていないか ・ 2本の車輪速センサケーブルが車両に共締め固定されていないか
000D00	車輪速センサC 異常	
001200	車輪速センサC 地絡	以下の確認を行って下さい。 ・ センサ抵抗値: 1kΩ ~ 2kΩ の事 ・ センサ 及び 延長ケーブルコネクタ内への水侵入や汚れ、ゴミの混入が無い事 ・ センサケーブル 及び 延長ケーブルの破損、亀裂が無い事
001300	車輪速センサD 地絡	
001800	車輪速センサC 周波数過大	車輪速センサ信号周波数 > 1.5 kHz (≒ 150km/h) 以下の確認を行って下さい。 ・ ブレーキジャダー、ブレーキ鳴きが無い事 ・ 車輪速センサ本体(ピックアップ部)が緩みなくホルダーに固定されているか ・ ノイズが誘導される様な箇所に車輪速センサケーブルが配線されていないか ・ 大径タイヤが使用されていないか
001900	車輪速センサD 周波数過大	車輪速が20km/h以上から急激に0km/hに変化 以下の確認を行って下さい。 ・ センサとパルスリング間の隙間 (Air gap)が適正か確認 ・ 車輪速センサ本体(ピックアップ部)が緩みなくホルダーに固定されているか ・ センサ抵抗値: 1kΩ ~ 2kΩ の事 ・ パルスリングの破損、汚れ 及び 異物付着が無い事 ・ ホールベアリングの過大な取付けガタ・遊びが無い事 ・ TEBSモジュールブレーキチャンバ間のエア配管に破損、閉塞が無い事 ・ サービスブレーキの印加、開放が正しく行われる事
001E00	車輪速センサC 速度急変	
001F00	車輪速センサD 速度急変	



エラーコード表

エラーコード	内容	処置
002400	車輪速センサC Air gap過大	<p>以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> センサとパルスリング間の隙間 (Air gap) が適正か確認 車輪速センサ本体 (ピックアップ部) が緩みなくホルダーに固定されているか センサ抵抗値: 1kΩ ~ 2kΩ の事 パルスリングの破損、汚れ、及び 異物付着が無い事 ホイールベアリングの過大な取付けガタ・遊びが無い事 TEBSモジュールブレーキチャンバ間のエア配管に破損、閉塞が無い事 サービスブレーキの印加、開放が正しく行われる事
002500	車輪速センサD Air gap過大	
002A00	車輪速センサC ドライブオフエラー	
002B00	車輪速センサD ドライブオフエラー	
003000	車輪速センサC ノイズ過多	<p>以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> センサとパルスリング間の隙間 (Air gap) が適正か確認 車輪速センサ本体 (ピックアップ部) が緩みなくホルダーに固定されているか センサ抵抗値: 1kΩ ~ 2kΩ の事 パルスリングの破損、汚れ、及び 異物付着が無い事 ホイールベアリングの過大な取付けガタ・遊びが無い事 TEBSモジュールブレーキチャンバ間のエア配管に破損、閉塞が無い事 サービスブレーキの印加、開放が正しく行われる事
003100	車輪速センサD ノイズ過多	
003600	車輪速センサC 装着輪 タイヤ設定規定外	
003700	車輪速センサC 装着輪 タイヤ設定規定外	TEBSモジュールに設定されているタイヤ直径とパルスリング歯数との関係が適用範囲外です。TEBSモジュールのパラメータ修正が必要です。 車型に合った正しいパラメータファイルへの書替えをして下さい。
003A00	P21 バックアップバルブ異常	<p>イグニッションスイッチ OFF/ON にてエラーが解消されない場合、TEBSモジュールの不良が考えられます。</p>
003B00	P21 増圧バルブ異常	
003C00	P21 排気バルブ異常	
003D00	P22 バックアップバルブ異常	
003E00	P22 増圧バルブ異常	
003F00	P22 排気バルブ異常	
004700	EEPROMメモリー領域不足	<p>メモリー領域 (EEPROM要領) の不足 可能性としてISO7638 電源ラインの接続不良 (頻繁な断線) が考えられます。以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO7638コネクタ接続に緩みが無いか TEBSモジュール電源コネクタ接続に緩みが無いか <p>エラー解除には専用のダイヤグツール ECUTalk (クノールPC診断機) を用いたEEPROMのクリーンアップが必要です。</p>
004800	サプライ圧過多	P1 サプライ圧が9.5bar以上
004C00	モジュールエラー	イグニッションスイッチ OFF/ON にてエラーが解消されない場合、TEBSモジュールの不良が考えられます。

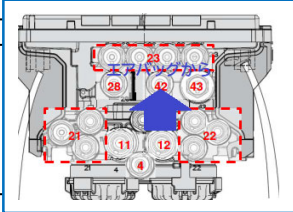


※P1サプライ圧・・・エアタンクからM11、M12ポートへのタンク圧

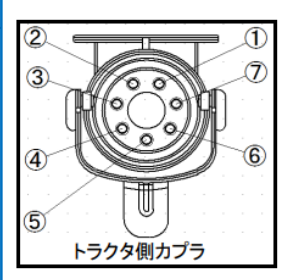

エラーコード表

エラーコード	内容	処置
00EC00	P1 サプライ圧 (Redカップリング圧)圧カセンサエラー	以下の確認を行って下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ P1 サプライ圧 < 9.0bar である事 ・ P1 入力圧 (必要に応じ圧カゲージを使用)とTEBSモジュールの認識するサプライ圧とに差がない事
00ED00	P1 サプライ圧 (Redカップリング圧)異常	P1 サプライ圧 (Redカップリング圧), P4 コントロール圧 (Yellowカップリング), P21,P22(ブレーキチャンパー出力圧)相互比較にて、P1圧が0.4bar以上の差を検出 以下の確認を行って下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ P1 サプライ圧 < 9.0bar である事 ・ P4 コントロール圧 < 9.0bar である事 (フル制動 かつパーキングブレーキ作動時) ・ サプライ圧配管に閉塞, 気密不良が無い事 ・ P1 入力圧 (必要に応じ圧カゲージを使用)とTEBSモジュールの認識するサプライ圧とに差がない事
00EE00	P4 コントロール圧 (Yellowカップリング圧)圧カセンサエラー	以下の確認を行って下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ P4 コントロール圧 < 9.0bar である事 ・ P4 入力圧 (必要に応じ圧カゲージを使用)とTEBSモジュールの認識するコントロール圧とに差がない事
00EF00	P4 コントロール圧 (Yellowカップリング圧)異常	P1 サプライ圧 (Redカップリング圧), P4 コントロール圧 (Yellowカップリング), P21,P22(ブレーキチャンパー出力圧)相互比較にて、P4圧が0.4bar以上の差を検出 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> ※P4コントロール圧・・・ リレーエマージェンシーバルブ (RE-6E) からのサービス指示圧の事です。 </div> 以下の確認を行って下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ P1 サプライ圧 < 9.0bar である事 ・ P4 コントロール圧 < 9.0bar である事 (フル制動 かつパーキングブレーキ作動時) ・ コントロール圧配管に閉塞, 気密不良が無い事 ・ P4 入力圧 (必要に応じ圧カゲージを使用)とTEBSモジュールの認識するコントロール圧とに差がない事
00F000	P42 エアサス圧 圧カセンサエラー	以下の確認を行って下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ P4 エアサス圧 < 9.0bar である事 ・ P4 入力圧 (必要に応じ圧カゲージを使用)とTEBSモジュールの認識するエアサス圧とに差がない事
00F100	P42 エアサス圧異常	以下の確認を行って下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ P4 エアサス圧 < 9.0bar である事
00F200	P21 ブレーキチャンパー圧 圧カセンサエラー	以下の確認を行って下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 左右ブレーキチャンパー圧が同圧で9.0bar以下である事 ・ P21 出力圧 (必要に応じ圧カゲージを使用)とTEBSモジュールの認識するP21圧とに差がない事
00F300	P21 ブレーキチャンパー圧異常 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> ※P21・・・右輪ブレーキ圧 ABSセンサD側 </div>	 P1 サプライ圧 (Redカップリング圧), P4 コントロール圧 (Yellowカップリング), P21,P22(ブレーキチャンパー出力圧)相互比較にて、P21圧が0.4bar以上の差を検出 以下の確認を行って下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 左右ブレーキチャンパー圧が同圧で9.0bar以下である事 ・ ブレーキチャンパー圧配管に閉塞, 気密不良が無い事 ・ P21 出力圧 (必要に応じ圧カゲージを使用)とTEBSモジュールの認識するP21圧とに差がない事
00F400	P22 ブレーキチャンパー圧 圧カセンサエラー	以下の確認を行って下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 左右ブレーキチャンパー圧が同圧で9.0bar以下である事 ・ P22 出力圧 (必要に応じ圧カゲージを使用)とTEBSモジュールの認識するP22圧とに差がない事
00F500	P22 ブレーキチャンパー圧異常 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> ※P22・・・左輪ブレーキ圧 ABSセンサC側 </div>	 P1 サプライ圧 (Redカップリング圧), P4 コントロール圧 (Yellowカップリング), P21,P22(ブレーキチャンパー出力圧)相互比較にて、P21圧が0.4bar以上の差を検出 以下の確認を行って下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 左右ブレーキチャンパー圧が同圧で9.0bar以下である事 ・ ブレーキチャンパー圧配管に閉塞, 気密不良が無い事 ・ P22 出力圧 (必要に応じ圧カゲージを使用)とTEBSモジュールの認識するP22圧とに差がない事

エラーコード表

エラーコード	内容	処置
00F600	モジュールエラー(マイコン)	イグニッションスイッチ OFF/ON にてエラーが解消されない場合、TEBSモジュールの不良が考えられます。
00F700	モジュールエラー(内部割込み処理異常)	
00F800	モジュールエラー(ECUリセット処理異常)	
00F900	モジュールエラー(ROM異常)	
00FB00	モジュールエラー(スタック領域オーバーフロー)	
00FC00	モジュールエラー(スタック領域アンダーフロー)	
00FD00	モジュールエラー(セルフテストエラー)	
00FE00	モジュールエラー(RAM異常)	
00FF00	モジュールエラー(2マイコン間の通信異常)	
010000	モジュールエラー(2マイコン間の通信異常)	
010100	モジュールエラー(2マイコン間の通信異常)	
010200	モジュールエラー(2マイコン間の通信異常)	
010400	モジュールエラー(圧カセンサクロスチャックエラー)	
011F00	過電圧エラー	以下の確認を行って下さい。 ・ ISO7638 1, 4ピン間 及び 2, 3ピン間電圧 < 32Vの事
012000	低電圧エラー(AUX機能停止)	以下の確認を行って下さい。 ・ 全てのケーブルが正しく接続されている事 ・ ISO7638コネクタピンに汚れ、ゴミの混入が無い事 ・ ISO7638 1, 4ピン間 及び 2, 3ピン間電圧 > 8Vの事 ・ ISO7638コネクタピンを再度押し込む
012100	走行中低電圧エラー(AUX機能停止)	以下の確認を行って下さい。 ・ 全てのケーブルが正しく接続されている事 ・ ISO7638コネクタピンに汚れ、ゴミの混入が無い事 ・ ISO7638 1, 4ピン間 及び 2, 3ピン間電圧 > 8Vの事 ・ ISO7638コネクタピンを再度押し込む
012200	低電圧エラー(制御停止)	以下の確認を行って下さい。 ・ 全てのケーブルが正しく接続されている事 ・ ISO7638コネクタピンに汚れ、ゴミの混入が無い事 ・ ISO7638 1, 4ピン間 及び 2, 3ピン間電圧 > 8Vの事 ・ ISO7638コネクタピンを再度押し込む
012300	走行中低電圧エラー(制御停止)	以下の確認を行って下さい。 ・ 全てのケーブルが正しく接続されている事 ・ ISO7638コネクタピンに汚れ、ゴミの混入が無い事 ・ ISO7638 1, 4ピン間 及び 2, 3ピン間電圧 > 8Vの事 ・ ISO7638コネクタピンを再度押し込む
012400	停車中低サプライ圧 (Redカップリング圧)	以下の確認を行って下さい。 ・ サプライ圧 > 5.5barの事
012500	走行中低サプライ圧 (Redカップリング圧)	
012700	P42 エアサス圧範囲外	 <p>TEBSモジュールへのパラメータ設定範囲外のエアサス圧を検出</p> <p>※P42でエアバッグの圧力から軸重を検出している。</p> <p>以下の確認を行って下さい。 ・ ハイトコントロール付き車の場合、ハイトコントロールのレバーが走行位置である事(手動調整状態で無い事) ・ TEBSモジュールへのパラメータ設定値[空車、積車エアサス圧設定]確認 (LSFプレート値との比較 又はトレーラメーカーへ指定を確認)</p>
012A00	LSF(ロードセンシング機能)パラメータ設定異常	以下の確認を行って下さい。 ・ TEBSモジュールへのパラメータ設定値[空車、積車エアサス圧設定]確認 (LSFプレート値との比較 又はトレーラメーカーへ指定を確認)
012C00	CAN/エア制動要求不整合	<p>※RE-6Eの凍結やリレーピストンの汚れの可能性有り。</p> <p>エア制動要求 (Yellowカップリング圧) 0barにて、CAN(電気式)制動要求 > 1bar が1秒以上継続</p> <p>以下の確認を行って下さい。 ・ Yellowカップリングが接続されている事 ・ コントロールライン配管 (Yellowカップリング、TEBSモジュール P4間)に閉塞、気密不良が無い事</p>
012D00	サービスブレーキ指示長時間継続	以下の確認を行って下さい。 ・ コントロールライン配管 (Yellowカップリング、TEBSモジュール P4間)の閉塞による残圧が無い事
012E00	エア式制動ラインを持たないトラクタとの連結	「エア式制動ライン無し」の信号 (ISO11992 CAN情報)をトラクタが送信[法規不適合]ト ラクタ製造会社へお問合せ下さい。
012F00	モジュールエラー(モジュレータ作動異常)	意図せぬハルブ作動を検出 イグニッションスイッチ OFF/ON にてエラーが解消されない場合、TEBSモジュールの不良が考えられます。

エラーコード表

エラーコード	内容	処置																		
013000	車輪速信号不整合	<p>長時間のABS継続作動</p> <p>以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> センサとバルスリング間の隙間 (Air gap) が適正か確認 車輪速センサ本体 (ピックアップ部) が緩みなくホルダーに固定されているか センサ抵抗値: 1kΩ ~ 2kΩ の事 バルスリングの破損、汚れ、及び 異物付着が無い事 ホイールベアリングの過大な取付けガタ・遊びが無い事 <p>上記確認後、走行を行いエラー再発の無い事を確認して下さい。</p>																		
013200	電源電圧変動	<p>過大な電源電圧変動 (ISO7638 1, 4ピン間) を検出</p> <p>以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全てのケーブルが正しく接続されている事 ISO7638コネクタピンに汚れ、ゴミの混入が無い事 ISO7638 1, 4ピン間 及び 2, 3ピン間電圧 > 8Vの事 ISO7638コネクタピンを再度押し込む <p>※ このエラーは 通算5回カウントされるとキーオフ、オンだけではエラーが消えません。エラー解除には専用のダイヤグツール ECUtalk を用いたエラー消去が必要です。</p>																		
	 <p>トラクタ側コブラ</p>	 <p>EBSモジュレータへ パワーケーブル差込</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">Power Connector</th> </tr> <tr> <th>pin</th> <th>接続先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ISO 7638 1pin バルブ電源</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ISO 7638 2pin ECU電源</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ISO 7638 3pin ECU GND</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ISO 7638 4pin バルブGND</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ISO 7638 5pin W/L</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ISO 7638 6pin CAN-H</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ISO 7638 7pin CAN-L</td> </tr> </tbody> </table>	Power Connector		pin	接続先	1	ISO 7638 1pin バルブ電源	2	ISO 7638 2pin ECU電源	3	ISO 7638 3pin ECU GND	4	ISO 7638 4pin バルブGND	5	ISO 7638 5pin W/L	6	ISO 7638 6pin CAN-H	7	ISO 7638 7pin CAN-L
Power Connector																				
pin	接続先																			
1	ISO 7638 1pin バルブ電源																			
2	ISO 7638 2pin ECU電源																			
3	ISO 7638 3pin ECU GND																			
4	ISO 7638 4pin バルブGND																			
5	ISO 7638 5pin W/L																			
6	ISO 7638 6pin CAN-H																			
7	ISO 7638 7pin CAN-L																			
013300	オプション設定機器エラー	オプション設定された機器のエラーを検出 (警告灯点灯の為にセットされるエラー) 同時に検出されるオプション設定機器のエラーコードに従い修理をして下さい。																		
014C00	横加速度センサ信号範囲外	イグニッションスイッチ OFF/ON にてエラーが解消されない場合、TEBSモジュールの不良が考えられます。																		
014D00	横加速度センサ取付方向エラー	以下の確認を行って下さい。 <ul style="list-style-type: none"> タイヤサイズ、バルスリング歯数の設定に誤りがない事 TEBSモジュールの取付け向きが正しい事 																		
014E00	TEBSモジュール取付け不良	横加速度センサ出力が規定最大値を超過																		
014F00	モジュールエラー (横加速度センサセルフチェックエラー)	以下の確認を行って下さい。 <ul style="list-style-type: none"> TEBSモジュールの取付け確認 (取付けボルトの緩み、取付けガタが無い事) TEBSモジュール取付け左右傾きが ±5度 以内にある事 																		
015100	モジュールエラー (横転抑止作動過多)	イグニッションスイッチ OFF/ON にてエラーが解消されない場合、TEBSモジュールの不良が考えられます。																		
016A00	P21 ブレーキチャンバー圧気密不良	<p>頻繁なP21 圧の調圧が発生 オイル混入の可能性が考えられます。</p> <p>以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> サイレンサーを取り外し、目視によるオイル混入有無の確認 P21 出力圧 (必要に応じ圧力ゲージを使用) とTEBSモジュールの認識するP21圧とに差がない事を確認 P21配管の接続確認 																		
016B00	P21 ブレーキチャンバー圧制御不能	<p>上記確認で異常が見られない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 全てのP21配管を外しフル制動 (8.5bar指示) を10回程度行う 全てのP21出力をプラグで塞ぎ数回のブレーキon/off後圧力を一定に保持 <p>上記確認で同エラーを検出する場合、TEBSモジュールの交換が必要です。モジュールを交換する前に、エア圧配管系の清掃を行って下さい。 清掃を行わない場合、モジュール交換を行っても再度同エラーが検出される可能性が有ります。</p>																		

※供給エア中にオイルや水の混入が多いと、早期にEBSモジュレータ内のリレーバルブ等が劣化します。

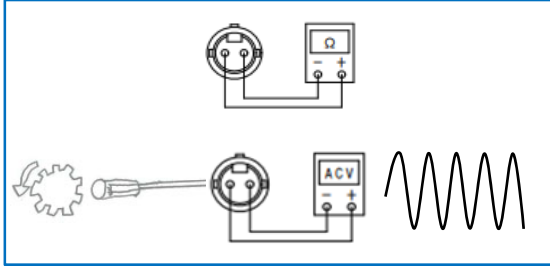
エラーコード表

エラーコード	内容	処置
016C00	モジュールエラー (P21バックアップバルブ不良)	イグニッションスイッチ OFF/ON にてエラーが解消されない場合、TEBSモジュールの不良が考えられます。
016D00	P22 ブレーキチャンバー圧気密不良	<p>頻繁なP22 圧の調圧が発生 オイル混入の可能性が考えられます。</p> <p>以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サイレンサーを取り外し、目視によるオイル混入有無の確認 ・ P22 出力圧 (必要に応じ圧力ゲージを使用)とTEBSモジュールの認識するP21圧とに差がない事を確認 ・ P22配管の接続確認
016E00	P22 ブレーキチャンバー圧制御不能	<p>上記確認で異常が見られない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全てのP22配管を外しフル制動 (8.5bar指示)を10回程度行う ・ 全てのP22出力をプラグで塞ぎ数回のブレーキon/off後圧力を一定に保持 <p>上記確認で同エラーを検出する場合、TEBSモジュールの交換が必要です。モジュールを交換する前に、エア圧配管系の清掃を行って下さい。 清掃を行わない場合、モジュール交換を行っても再度同エラーが検出される可能性が有ります。</p>
016F00	モジュールエラー (P22バックアップバルブ不良)	イグニッションスイッチ OFF/ON にてエラーが解消されない場合、TEBSモジュールの不良が考えられます。
017200	P1 サプライ圧 (Redカップリング圧) 関連エラー	<p>P1 サプライ圧 < P21, P22 ブレーキチャンバー圧</p> <p>以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P1 入力圧 (必要に応じ圧力ゲージを使用)とTEBSモジュールの認識するサプライ圧とに差がない事を確認
018500	電源供給ラインの配線抵抗過大	<p>制動中に頻繁な電源電圧変動を検出</p> <p>以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全てのケーブルが正しく接続されている事 ・ ISO7638コネクタピンに汚れ、ゴミの混入が無い事 ・ ISO7638 1, 4ピン間 及び 2, 3ピン間電圧 > 8Vの事 ・ ISO7638コネクタピンを再度押し込む
018600	ISO7638 3ピン (ECU GND) 断線 (停車中)	<p>以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ISO7638 3ピンが正しく接続されている事 ・ ISO7638 2, 3ピン間電圧 > 8Vの事 ・ ISO7638コネクタ, TEBSモジュール間のケーブルに破損、亀裂が無い事 ・ ISO7638コネクタピンに汚れ、ゴミの混入が無い事 ・ ISO7638コネクタピンを再度押し込む
018700	ISO7638失陥 (停車中)	<p>以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ISO7638 1, 4ピン間 及び 2, 3ピン間電圧が8~32Vの範囲にある事 ・ ISO7638 4ピンからTEBSモジュールバルブ電源入力端子間電圧降下量が2V未満の事 ・ ISO7638コネクタ, TEBSモジュール間のケーブルに破損、亀裂が無い事 ・ ISO7638コネクタピンに汚れ、ゴミの混入が無い事 ・ ISO7638コネクタピンを再度押し込む
018A00	コンフィグレーション設定エラー	<p>パラメータ設定に矛盾が有ります。 車両に適合するパラメータを入手しECUへ書き込んでください。</p>
018B00	ABS設定エラー	<p>ABS 設定に矛盾が有ります。 車両に適合するパラメータを入手しECUへ書き込んでください。</p>
018C00	AUX I/O設定エラー	<p>Auxiliary IO 設定に矛盾が有ります。 車両に適合するパラメータを入手しECUへ書き込んでください。</p>
018D00	モジュールエラー (2マイコン間の通信異常)	イグニッションスイッチ OFF/ON にてエラーが解消されない場合、TEBSモジュールの不良が考えられます。

ISO7638 1ピン・・・バルブ24V
ISO7638 2ピン・・・ECU24V
ISO7638 3ピン・・・ECUアース
ISO7638 4ピン・・・バルブアース

※パラメータ設定済みEBSをトレクスから購入下さい。

エラーコード表

エラーコード	内容	処置
018E00	ABS作動異常	<p>ABS制御が長時間継続 ABS制御が作動／停止を繰り返す</p> <p>以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ センサとパルスリング間の隙間 (Air gap) が適正か確認 ・ 車輪速センサ本体 (ピックアップ部) が緩みなくホルダーに固定されているか ・ センサ抵抗値: 1kΩ ~ 2kΩ の事 ・ パルスリングの破損、汚れ、及び 異物付着が無い事 ・ ホイールベアリングの過大な取付けガタ・遊びが無い事 ・ TEBSモジュールブレーキチャンバ間のエア配管に破損、閉塞が無い事 ・ サービスブレーキの印加、開放が正しく行われる事 
018F00	ECUコンフィグレーションエラー	<p>ECUのパラメータ設定に誤りがあります。 車両に適合するパラメータを入手しECUへ書き込んでください。</p> <p>※パラメータ設定済みEBSをトレクスから購入下さい。</p>
019900	ECUコンフィグレーション (パラメータ設定) 未実施エラー	<p>ECUは出荷状態のままパラメータ設定がされていません。車両に適合するパラメータを入手しECUへ書き込んでください。</p>
019A00	EOL未実施エラー	<p>ECUは出荷状態のままEOL試験が未実施 又は 中断されたままです。 EOL試験を行って下さい。</p> <p>※パラメータ設定済みEBSをトレクスから購入下さい。 または、クノールPC診断機でEOL試験して下さい。</p>
019C00	TEBSモジュール取付け不良	<p>TEBSモジュール取付け左右傾き > ±5度</p> <p>以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TEBSモジュールの取付け確認 (取付けボルトの緩み、取付けガタが無い事)
019F00	モジュールエラー (P28 リフトアクスルバルブ作動圧生成不良)	<p>イグニッションスイッチ OFF/ON にてエラーが解消されない場合、TEBSモジュールの不良が考えられます。</p>
01A300	車輪速信号関連エラー	<p>以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ センサとパルスリング間の隙間 (Air gap) が適正か ・ 車輪速センサ本体 (ピックアップ部) が緩みなくホルダーに固定されているか ・ パルスリングの破損、汚れ、及び 異物付着が無い事 ・ ホイールベアリングの過大な取付けガタ・遊びが無い事 ・ TEBSモジュールブレーキチャンバ間のエア配管に破損、閉塞が無い事 ・ サービスブレーキの印加、開放が正しく行われる事
01A400	ISO7638失陥 (走行中)	<p>以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ISO7638 1, 4ピン間 及び 2, 3ピン間電圧が8~32Vの範囲にある事 ・ ISO7638 4ピンからTEBSモジュールバルブ電源入力端子間電圧降下量が2V未満の事 ・ ISO7638コネクタ、TEBSモジュール間のケーブルに破損、亀裂が無い事 ・ ISO7638コネクタピンに汚れ、ゴミの混入が無い事 ・ ISO7638コネクタピンを再度押し込む
01A500	ISO7638 3ピン (ECU GND) 断線 (走行中)	<p>以下の確認を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ISO7638 3ピンが正しく接続されている事 ・ ISO7638 2, 3ピン間電圧 > 8Vの事 ・ ISO7638コネクタ、TEBSモジュール間のケーブルに破損、亀裂が無い事 ・ ISO7638コネクタピンに汚れ、ゴミの混入が無い事 ・ ISO7638コネクタピンを再度押し込む
01A600	制動性能低下	<p>失陥によりUN/ECE R13で要求される制動性能が満足出来ません。 同時に検出されているエラー (以下の失陥の可能性が有ります) に従い修理をして下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ECUは出荷状態のままパラメータ設定がされていない ・ 車輪速センサの失陥 ・ ロードセンシング機能失陥
01A900	低サプライ圧によるEBS制御停止	<p>P1 サプライ圧 (Redカップリング圧) < 2.5bar</p>

エラーコード表

エラーコード	内容	処置
01AC00	ISO7638 4ピン (バルブGND)断線	以下の確認を行って下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ISO7638 4ピンが正しく接続されている事 ISO7638コネクタ, TEBSモジュール間のケーブルに破損, 亀裂が無い事 ISO7638コネクタピンに汚れ, ゴミの混入が無い事 ISO7638コネクタピンを再度押し込む
01AD00	低サプライ圧によるリフトアクスル制御停止	P1 サプライ圧 (Redカップリング圧) < 5.2bar
01AF00	警報ランプ失陥	ISO7638 5ピン: 警報ランプの天絡 又は 地絡 ケーブルの破損, 亀裂が無い事を確認して下さい。
01C600	ISO11992 CAN による電気式制動要求受信不可	失陥によりISO11992 CAN による制動要求を受信出来ません。 同時に検出されているエラーに従い修理をして下さい。
01CF00	AUXIO5(ハイトコントロール解除信号出力)エラー	AUXIO5 出力 断線, 地絡, 天絡 AUXIO5 出力と AUXIO5 GND 間ショート AUXIO5 出力と他配線 間ショート GND不良, 過電流 以下の確認を行って下さい。 <ul style="list-style-type: none"> AUXIO5 ケーブルが正しく接続されている事を確認 AUXIO5 ケーブルの破損, 亀裂が無い事 コネクタを再度押し込む
01D400	P42 エアサス圧関連エラー	P42 エア配管確認を行って下さい。
01DD00	P21側車輪速信号関連エラー	以下の確認を行って下さい。 <ul style="list-style-type: none"> センサとパルスリング間の隙間 (Air gap) が適正か確認 車輪速センサ本体 (ピックアップ部) が緩みなくホルダーに固定されているか パルスリングの破損, 汚れ, 及び 異物付着が無い事
01DE00	P22側車輪速信号関連エラー	<ul style="list-style-type: none"> ホイールベアリングの過大な取付けガタ・遊びが無い事 TEBSモジュールブレーキチャンバ間のエア配管に破損, 閉塞が無い事 サービスブレーキの印加, 開放が正しく行われる事